

## 2 環境未来型の産業構造への転換

大阪市には、これまでの公害対策やごみ処理・水処理などの環境対策を進める中で蓄積された様々な環境技術がある。また、大阪湾周辺など関西エリアには電池産業が集積しており、その国内シェアはリチウムイオン電池が約8割、太陽電池が約7割となっている。また、関西エリアには、こうした技術を支える中堅・中小企業が多く立地している。

こうした特性を踏まえ、行政自らが環境技術の需要創出に取り組むとともに、官民連携で海外輸出やショーケース化などを進めていく。

また、電池メーカー等が関連企業などとの連携を強化できる基盤づくりや、企業が効率的に研究・生産などを行うための産学連携への支援、さらには規制緩和の活用などによる企業誘致に取り組む。

こうした取組みをとおして環境・エネルギー産業を中心に、観光やライフイノベーションなどを含めた「環境未来型の産業構造への転換」を図ることにより、大阪経済を活性化し、雇用創出につなげるとともに、関西経済圏をけん引する成長エンジンとしての役割を果たす。

## 2 環境未来型の産業構造への転換

### 環境・エネルギー産業の誘致・活性化をめざす

| 具体施策 | 総合特区制度を活用して<br>夢洲・咲洲地区へ企業を誘致 |
|------|------------------------------|
| 2-1  |                              |

夢洲へのメガソーラー設置を契機に、臨海部への環境・エネルギー関連産業の誘致を進めていく。

関連産業発展に向けた規制緩和や補助金の交付、租税の減免など特例措置を設ける。

スマートグリッド\*やEV普及において中心的役割を果たす二次電池産業や、電池の部材、自動車部品など周辺産業の振興を図る。

環境・エネルギー産業の実証実験エリアを活用し、関連企業との連携を強化する。

#### 【平成23年度の取組み】

臨海部への企業誘致プロモーション

企業誘致にかかる効果的なインセンティブ等のあり方調査

\*スマートグリッド：電力の流れを供給側・需要側の両方から制御し、最適化できる送電網



| 具体施策 | スマートコミュニティの実証実験 |
|------|-----------------|
| 2-2  |                 |

咲洲にスマートコミュニティ\*実証実験エリアを設け、太陽光発電や省エネ機器、スマートメーター\*等を備えたスマートハウス\*の設置や低炭素交通システム・ロボットテクノロジーなどの導入により、未来の生活におけるエネルギーの最適利用などについての実証実験を行う。

実証実験で活用した技術・サービスを実用化・パッケージ化し、未来技術を使った新たなビジネスを生み出す。

#### 【平成23年度の取組み】

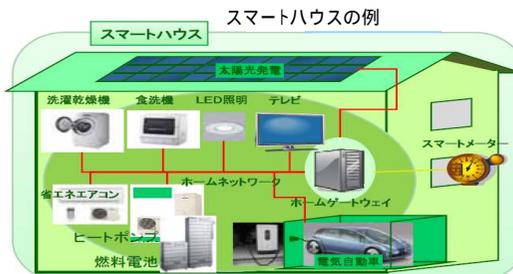
実証実験の計画策定・参加企業募集・実験着手

咲洲地区の開発促進とエリアマネジメントの推進

\*スマートコミュニティ：電気や熱などの面的利用や地域の交通システム、ライフスタイルの変革などによるエリア単位での次世代エネルギー・社会システム概念

\*スマートメーター：通信機能を持ち、電力需給を自動的に調整する機能などを持った電子式メーター等のシステム

\*スマートハウス：太陽光発電や二次電池などを有し、快適性を犠牲にすることなく、家庭内のエネルギー利用の最適化を行う住宅



経済産業省「スマートコミュニティ関連システムフォーラム」資料より抜粋  
(<http://www.meti.go.jp/press/20100615006/20100615006-2.pdf>)

| 具体施策 | EVなどの環境技術の開発促進と<br>中小企業等の市場参入支援 |
|------|---------------------------------|
| 2-3  |                                 |

太陽光発電や二次電池などについて、大学や研究機関の持つ新たな技術シーズから革新的な新製品を生み出すための連携体制の構築に取り組む。

環境関連技術の開発や企業間連携、販路開拓等を支援し、中小企業の強みを活かした市場参入を促進する。

公用車へのEV導入等を進めるとともに、産官学連携のもとで、大阪発のEV関連技術の研究開発への支援等を行うことにより、EV関連市場の拡大を図る。

広報観光用途等の電気船の研究開発の促進を通じて、関連技術の振興を図る。

EVの導入、インフラ整備など、EVの普及促進を一層推進するため、官民一体でEV推進会議を設置し、検討を進める。

#### 【平成23年度の取組み】

成長産業チャレンジ支援を通じたEV関連技術の研究開発への支援・助成

グリーンテクノロジーの創出と活用促進

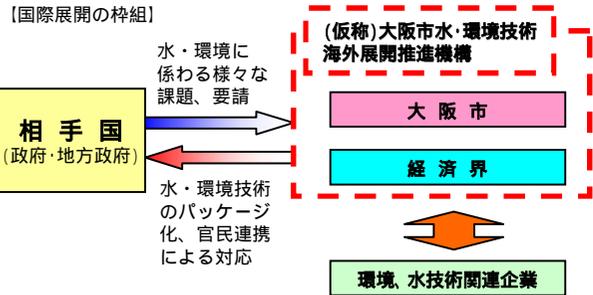


電気自動車イメージ

# ビジョンでめざす取組み

## 2 環境未来型の産業構造への転換

### 大阪の都市インフラや環境技術をビジネスに活用する

| 具体施策<br>2 - 4  | 官民連携でアジアなどで<br>新市場開拓、都市インフラを輸出   | 具体施策<br>2 - 5  | ATCグリーンエコプラザの<br>機能強化  | 具体施策<br>2 - 6   | 関西エコビジネスツアーの創設  |
|--|--|--|--|---|---|
| <p>大阪の上下水道、環境技術などをパッケージとして捉え、「(仮称)大阪市水・環境技術海外展開推進機構」の設立により、優れた個別要素技術を持つ大阪・関西企業との連携を強化することで、海外の水・環境問題の解決とともに、大阪・関西経済の発展に貢献する。</p> <p>国連環境計画 (UNEP) 等とも連携しながらアジア諸国などでのニーズ調査等を行う。</p> <p><b>【平成23年度の取組み】</b></p> <p>推進機構の設立及び事業展開</p><br><p>(仮称)大阪市 水・環境技術海外展開推進機構</p> <p>【国際展開の枠組】</p>  | <p>大阪の上下水道、環境技術などをパッケージとして捉え、「(仮称)大阪市水・環境技術海外展開推進機構」の設立により、優れた個別要素技術を持つ大阪・関西企業との連携を強化することで、海外の水・環境問題の解決とともに、大阪・関西経済の発展に貢献する。</p> <p>国連環境計画 (UNEP) 等とも連携しながらアジア諸国などでのニーズ調査等を行う。</p> <p><b>【平成23年度の取組み】</b></p> <p>推進機構の設立及び事業展開</p> | <p>環境ビジネスへの支援を目的として設置したATCグリーンエコプラザをリニューアルし、咲洲におけるスマートコミュニティ実証実験のサポート施設として活用する。</p> <p>スマートグリッドのほか、EV産業や大阪が持つ様々な環境技術についての紹介やビジネスマッチングが可能なものへと刷新し、環境ビジネスの振興につなげる。</p> <p><b>【平成23年度の取組み】</b></p> <p>スマートコミュニティ実証実験に合わせた機能強化</p> |  <p>ATCグリーンエコプラザ</p> | <p>夢洲・咲洲の環境・エネルギー産業、舞洲ごみ焼却工場をはじめとする環境関連施設、ATCグリーンエコプラザなどを組み込んだエコビジネスツアーを創設する。</p> <p>ツアーは主にアジア諸国などを対象とし、最新技術などの見学・体験とともに商談なども可能なものとする。</p> <p>エコビジネスツアーは、京都や神戸・堺などと広域連携のもとで進める観光施策にも組み込む。</p> <p><b>【平成23年度の取組み】</b></p> <p>エコビジネスツアーの企画・実施</p> |  <p>舞洲工場</p> |